

村 長	副村長	教育長	審議監

R6.6.4

資料4

総務課長	防災係長	防災係	起 案

令和6年度球磨村防災会議資料

6 . 6 . 4

総 務 課 防 災 管 理 官

令和5年度の避難指示等

番号	時 期	避難指示等	警報の種類等	指定緊急避難場所 への避難者
1	6/30日(金) 1700- 7/1日(土) 1200	第4レベル 避難指示	大雨・洪水警報 ※5/29梅雨入り	26世帯 49名
2	7/2日(日) 1700- 7/3日(月) 1800	第3レベル 高齢者等避難	大雨・洪水警報 ※0629顕著な大雨情報	6世帯 12名
3	7/4日(火) 1700- 7/5日(水) 0700	第3レベル 高齢者等避難	大雨注意報	8世帯 11名
4	8/8日(火) 1700- 8/10日(木) 0845	第3レベル 高齢者等避難	洪水警報	8世帯 13名

※球磨村の避難指示等発令回数は過去6年間で平均6.5回

- ・7月1日(土) 未明の大雨を雨雲レーダーから判断し、動けるうちに避難を促すため、6月30日(金) 2100に避難指示を発令した。
これにより、住民は指定緊急避難場所に26世帯49名が避難した。
- ・アメダス一勝地観測所のデータによれば、令和5年の年間雨量は253ミリであり、過去10年の統計上が最も少なかった。
令和5年6月から8月の雨量は1035ミリであり、過去10年の統計上2番目に少なかった。
- ・年間雨量が少なかったことは、避難勧告等の発令が少なかった要因になったものと思慮するものの、梅雨時期に年間雨量の約半分の雨が降ることに変わりはない。

自主防災組織

P29関連

番号	認定日	組織名	会長	備考
1	平成31年 3月 1日	松谷 自主防災組織		・球磨村は、平成31年2月に、球磨村自主防災活動支援事業実施要項を制定した。 ・球磨村における自主防災組織とは、提出された地区防災計画及び日頃の防災活動を審査し、球磨村長が自主防災組織として認可した組織を言う。 ・黄色は令和5年度に認定した自主防災組織 ・※印：自主防災組織会長と区長・班長を兼務している方
2	平成31年 3月15日	吐合・中屋 自主防災組織		
3	平成31年 3月25日	那良 自主防災組織		
4	平成31年 4月18日	伊高瀬 自主防災組織		
5	令和 元年 7月 1日	小川 自主防災組織		
6	令和 元年 7月 4日	中園 自主防災組織		
7	令和 元年10月11日	田代 自主防災組織		
8	令和 2年 3月30日	峯 自主防災組織		
9	令和 2年 4月 7日	島田 自主防災組織		
10	令和 3年 7月14日	大瀬 自主防災組織		
11	令和 3年11月24日	大無田 自主防災組織		
12	令和 3年11月24日	上部 自主防災組織		
13	令和 3年11月24日	楮木 自主防災組織		
14	令和 4年 9月12日	渡西 自主防災組織		
15	令和 4年 9月27日	横井 自主防災組織		
16	令和 5年 1月18日	松舟 自主防災組織		
17	令和 5年 5月15日	境目 自主防災組織		
18	令和 5年 6月26日	川島 自主防災組織		
19	令和 5年10月16日	友尻 自主防災組織		
20	令和 5年10月16日	立野 自主防災組織		
21	令和 5年11月20日	山口 自主防災組織		
22	令和 6年 2月26日	中津 自主防災組織		

R6 自主防災組織連絡協議会

- 1 目的：主要な防災ソフト施策等について周知する。
- 2 時期：令和6年4月2日（火）19時～21時
- 3 参加組織：15の自主防災組織代表者
- 4 成果の概要
 - (1) 令和6年度主要なソフト防災施策について周知した。
 - (2) 公民館等整備に状況について周知した。
 - (3) 令和6年度各自主防災組織の活動予定について、情報交換した。

ア 他集落との合同避難訓練

イ 防災勉強会

ウ 集落の防災マップ作製

エ 竹灯籠をたてて犠牲者を慰霊

オ 組織図の見直し

カ 土のうの事前準備

キ 電話連絡網の作成

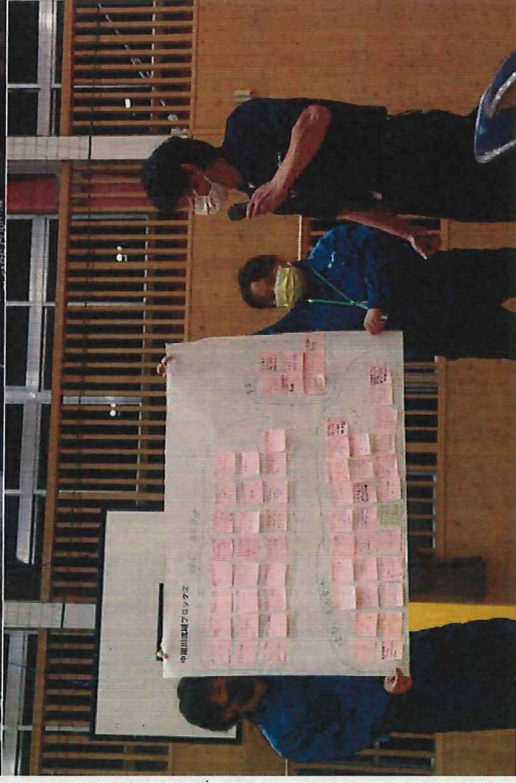
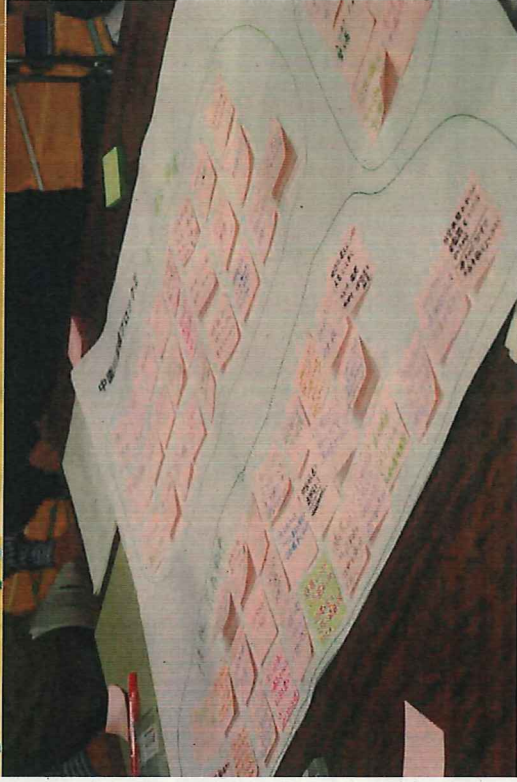
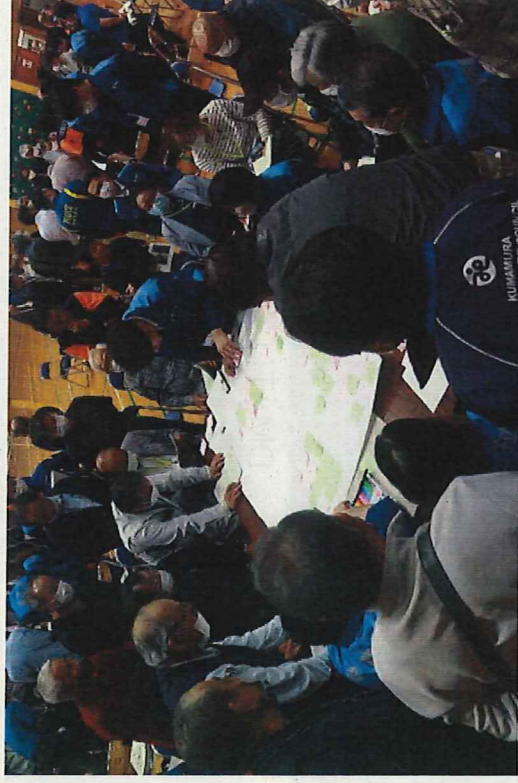
ク 備蓄品の整備・点検

ケ 救急法訓練

コ AED、トランシーバー等取り扱い操作訓練



令和6年度 球磨村村民防災ブロック会議（6. 4. 16）



- 1 梅雨期までに、何を・どの様に準備すべきか（要支援者の避難対策を含む）について、
131名の参加者が真剣に議論した。
- 2 意見交換により、情報共有した。

令和5年度 防災学習 (12.3)

P33関連

陸自車両を利用した避難訓練



避難訓練参加者



EVバスによる電源確保

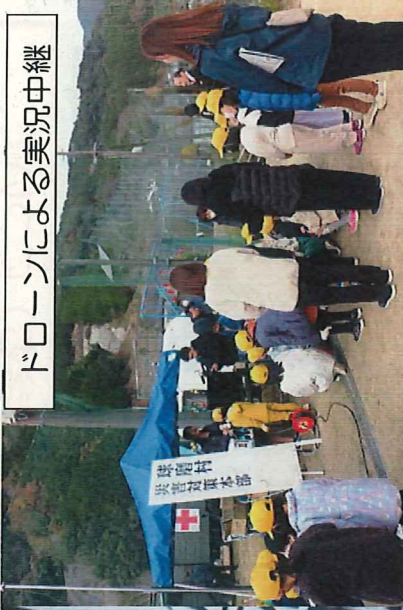


アマチュア無線体験

放水体験



代表者によるお礼の言葉



ドローンによる実況中継



DMATによる展示



令和2年7月豪雨に係る伝承実績等

□ : 村内で実施
 □ : 村外で実施

番号	時 期	場 所	研修会等	備考
1	5.4.19	球磨村	高知県仁淀町議会	
2	5.4.21	福岡県粕屋町	福岡県粕屋町職員	
3	5.4.26	球磨村	神奈川県議（佐藤氏）	
4	5.5.9-10	あさぎり町	あさぎり町職員	
5	5.5.22	球磨村	阿蘇市内牧区長会	
6	5.5.24	熊本市	NHK熊本	
7	5.5.30	球磨村	北九州市教育委員会	オンライン
8	5.6.17	球磨村	観光案内人の会	
9	5.6.27	球磨村	消防防災科学センター	オンライン
10	5.7.28	球磨村	社会教育主事現地研修	
11	5.8.4	球磨村	球磨・人吉事務職員研修	
12	5.8.31	球磨村	熊本市南区職員	
13	5.9.21	球磨村	高知県安田町議会	
14	5.10.25	球磨村	広島県安芸市建設青年会	かたりベ
15	5.11.6	球磨村	東京都台東区議会議員	

番号	時 期	場 所	研修会等	備考
16	5.11.10	球磨村	大阪府高槻市デジタルTL	
17	5.11.12	錦町	錦町防災訓練	
18	5.11.18	球磨村	長崎県佐々町消防団	
19	5.11.21	球磨村	長崎県諫早市町内会	
20	5.11.24	福岡市	土木学会シンポジウム	
21	5.11.30	東京都小平市	水害タイムライン	
22	5.12.3	球磨村	熊本市西区及び兵庫県佐用町職員	
23	5.12.6	球磨村	恵寿会	
24	5.12.14	球磨村	人権社会教育部会	かたりべ
25	6.1.16	球磨村	水俣市危機管理防災課長	
26	6.1.19	兵庫県佐用町	職員研修会	
27	6.1.20	兵庫県佐用町	町民防災研修会	
28	6.2.1	球磨村	八代市坂本町住民自治協議会	かたりべ
27	6.2.16	熊本市東区	熊本市東区防災力アップ講演会	
30	6.2.22	東京都千代田区	消防防災科学センター	
31	6.2.24	京都市左京区	避難所・避難生活学会	
32	6.2.29	山都町	山都町防災リーダー研修会	

番号	時期	場所	研修会等	備考
33	6.3.4	球磨村	菊池市洒水消防団	かたのりべ
34	6.3.10	大阪府河南町	河南町防災講演会	
35	6.3.13	球磨村	福岡県那珂珂川市職員	
36	6.3.22	東京都港区	気象庁管理者研修	

- 令和2年7月豪雨の教訓伝承は生かされた者の使命である。
- 全国で多発する災害に備えて貰い防災・減災に繋げる。



【福岡県粕谷町職員に対する教訓伝承】

(5. 4. 21)



洪水標識の設置



【3. 26 渡ローソン】



【3. 26 旧渡小交差点】



【3. 26 神瀬】



【3. 28 友尻】



【3. 28 中園】

- ・令和6年3月26日（火）及び28日（木）に設置した。
- ・山口地区（ローソン前）、旧渡小交差点、神瀬堤岩戸、友尻及び中園に設置した。
- ・令和6年度も継続実施予定

令和6年度 球磨村全村民が避難について考える日（概要）

【訓練の概要】

1. 開催日時：令和6年5月12日 09時～11時
2. 開催機関：熊本県球磨村
3. 訓練参加者：約400人
4. 主な訓練内容
 - ・地区の災害特性の把握
 - ・避難すべき住民の実避難
 - ・孤立対策
 - ・防災勉強会 等
5. 訓練で工夫した点
 - ・役場から09：00に高齢者等避難、10：00に避難指示を発令した。
 - ・約400人の村民が実動により参加した。
 - ・住民は、集落の災害特性に併せた行動を実施した。
 - ・自主防災組織協議会（4月2日）、村民防災ブロック会議（4月16日）及び広報誌等により啓発を実施することともに、前日には防災無線で周知し、本企画に対する住民参加を促した。
6. 訓練成果
 - ・今年度で4回目の開催であり、村民の自主性を重視した活動内容は、**回を重ねる毎に充実**してきており、防災意識の高まりを感じた。
 - ・梅雨期までに**住民の防災意識を最高度に高める**という初期の目的は達成できたものと思慮する。



防災勉強会



発電機の点検



指定緊急避難所の受付



災対本部訓練



避難訓練



炊き出し訓練

指定避難所等の整備実績



【公民館等への情報収集用テレビ整備】



【公民館等へのエアコン整備】



【発電機の取り扱い等説明会】



【公民館等への電気メガホンの整備】



【公民館等へのLEDライト等の整備】



【公民館等へ携帯ラジオの整備】

- ・活動の中核となる集落の公民館等を整備するため、球磨川流域防災・減災事業交付金・コロナ交付金、コミュニティ助成事業等を活用し、**発電機、エアコン、テレビ、備蓄品等**を公民館等に整備している。
- ・整備実績は、令和4年度：8,685千円、令和5年度：7,423千円である。
- ・**発電機の取り扱い等説明会、洪水標識**の取り付け等により、自主・積極的な防災活動を促す。

消防計画（定数等）

分 団	部	班	定数	実数
本部			3	3
第1分団	3	4	25	19
第2分団	3	7	30	24
第3分団	3	6	25	20
第4分団	3	6	30	29
第5分団	3	6	25	19
第6分団	3	9	20	19
ラッパ班		1		
機能別分団		1	100	36
合 計	18	40	258	169

※機能別分団の充実・強化
の必要性を考慮し、定数
40を100に増強

消防計画（特定機能別団員）

※ 令和6年度から、新たな施策として、下記運用案に基づき募集する。

項 目	内 容	備 考
名称	球磨村消防団（分団）特定機能別団員	
通称	球磨村地域防災サポーター	
所属	地域の分団（1－6分団）	
出動要請	消防団本部及び所属分団からの出動要請	
指揮監督	各分団長の指揮による	
階級	団員	
採用対象者	消防団OB	
定年等	年齢70歳、ただし、延長及び短縮が可能	
年額報酬	6,000円	
出動報酬	1回につき1,500円	
退職報奨金	なし	記念品を贈呈
公務災害補償	熊本県市町村総合事務組合消防団等公務災害補償（消防団員と同じ内容）	
被覆等貸与品	ヘルメット・ベスト等、必要装備品	
活動の一例	【消防】火災現場での積載車搬送及びホース補助等、後方支援 【防災】災害発生時の避難所運営及び物資センター支援等、後方支援	
訓練	調整による	
その他	・ 加入希望者を各分団が確認し、防災係に連絡する。 ・ 報酬は、個人口座等に支給する。	

各警戒レベルに基づく、役場及び村民の行動基準

警戒レベル	災害情報等	役場の体制	役場等の編成	役場等の行動	村民の行動
第5レベル	・ 村内に大雨特別警報の発令 ・ 村内に線状降水帯が発生 ・ 村内に氾濫発生情報 ・ 村内に震度6弱以上の地震が発生		全職員で対応	・ 緊急安全確保を発令 ・ 村民の命を守る最善の行動を指示	・ すでに安全な避難ができず、命が危険な状態であり、いまいる場所よりも安全な場所に直ちに移動する。
第4レベル	・ 村内に土砂災害情報の発表 ・ 村内に記録的短時間大雨情報の発表 ・ 村内に災害が緊迫 ・ 氾濫危険水位超え（渡） ・ 村内に氾濫危険情報の発表 ・ 村内に震度5弱以上の地震発生	災害対策本部体制	全職員で対応することを基本	・ 避難指示を発令	・ 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況であり、この段階までに避難を完了しておく。 ・ 台風等により某風が吹き始める前に避難を完了しておく。
第3レベル	・ 村内に大雨（洪水）、暴風警報の発表（夜間に発表の可能性を含む） ・ 避難判断水位超え（渡） ・ 村内に震度4以上の地震発生	警戒体制	・ 関係課長 ・ 避難所管理者の指名する者 ・ 社協事務局長の指名する者 ・ 防災担当職員等	・ 高齢者等避難を発令 ・ 指定緊急避難場所の開設 ・ 福祉避難所の開設	・ 高齢者以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難行動を開始する。 ・ 高齢者等は立ち退き避難を基準として避難を開始する。
第2レベル	・ 村内に大雨注意報の発表 ・ 村内に洪水注意報の発表	情報収集体制	・ 防災担当職員 ・ 避難所担当職員	・ 気象情報を収集 ・ 避難所の開設準備を完了	・ ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認する等、災害への備えを万全にする。
第1レベル	近く警報級の大雨が降るとの予報		防災担当職員	気象情報を収集	災害への心構えを高める。

令和6年度 災害対策本部の編成及び主要な任務

別紙関連

考慮要件

- 1 結節毎、本部会議を開催し、情報共有意思疎通及び対応方針等を決定する。
 - 2 発災後、主要な段階において、編成及び各部の人員配分を見直す。
 - 3 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について(平成31年4月1日施行)及び勤務の長期化と職員の疲労を考慮し、勤務時間は連続して8時間を越えないように配慮する。
- 細部は、別紙第8「指定緊急避難場所等委員の編成等」による。

災害対策本部長
村 長

区 分	現地指揮所
編 成	別 示
主任務	①現地指揮 ②現地確認 ③情報収集等

防災管理官	① 副 村 長
防災係長	② 教 育 長
防災係	③ 政策審議監

球磨村消防団長

区 分	総 務 部
長	総務課長
主任務	①本部会議の主催 ②県等への報告・通報 ③広報・マスコミ対応 ④通信インフラの維持 ⑤職員等の人員配分 ⑥受援業務の取り纏め ⑦仮設住宅 ⑧総括業務 等

区 分	運 用 部
長	復興推進課長
主任務	①消防・警察・自衛隊への派遣要請 ②派遣部隊の運用 ③消防団の運用 ④避難指示等の発令等 ⑤給水及び災害ゴミ等 ⑥熊本県等との連絡・調整 等

区 分	民生対策部
長	保健福祉課長
主任務	①避難所開設・運営 ②要配慮者支援 ③避難者のニーズに基づく支援物資の調整・受け入れ等 ④被災住民の民生支援 等

区 分	情 報 部
長	産業振興課長
主任務	①防災気象情報の収集・住民への周知 ②災害情報の収集・整理 等

区 分	応急復旧部
長	建設課長
主任務	①道路及び河川等の応急復旧 ②水道、下水道等の応急復旧 ③本格復旧を見据えた国土交通省等との連絡・調整 等

区 分	衛生対策係
長	保健予防係長
主任務	①医療救護及び健康管理 ②感染症対策 ③避難所運営支援 ④関係機関との連携及び活動調整 等

区 分	学校対策部
長	教育課長
主任務	①学校運営 ②文教対策 等

区 分	災害ボランティア部
長	社会福祉協議会局長
主任務	災害ボランティアの運用等

区 分	罹災証明部
長	税務住民課長
主任務	罹災証明等

区 分	視察対応部
長	総務課長(兼)
主任務	高官・議員等の視察対応等

区 分	会計部
長	会計課長
主任務	会計業務等